



多焦点眼内レンズを使用する白内障手術 — 選定療養と自由診療 —

2020 年より 4 月より多焦点眼内レンズを使用する白内障手術は「選定療養」と「自由診療」を選択できるようになりました。

選定療養 による多焦点眼内レンズの白内障手術では手術にかかる費用は、単焦点眼内レンズと同じく健康保険適応となりますが、多焦点レンズ代は別途自己負担となります。多焦点レンズは従来よりの「2 重焦点」「3 重焦点」「焦点深度拡張型(EDOF)」を選択でき、いずれも国内認可された下記レンズに限られます。

パンオプティクス (トーリック)	アルコン	3 重焦点
レストア (トーリック)	アルコン	2 重焦点
テクニスマルチフォーカル	ジョンソン・エンド・ジョンソン	2 重焦点
テクニスシンフォニー (トーリック)	ジョンソン・エンド・ジョンソン	焦点深度拡張型(EDOF)

自由診療 ファインビジョンは 2011 年に発売された 3 重焦点レンズです。遠方・近方に加えて中間距離にも対応しているため、現在欧米では最も評価されているレンズで、ドクター自身が白内障手術を受けた際に、最もよく選ばれている多焦点眼内レンズです。最新のフェムトセカンドレーザーを使用した白内障手術になります。全額自己負担。

ファインビジョン
ファインビジョントーリック

PhysIOL 社
ベルギー

3 重焦点



ミニウェル
ミニウェルトーリック

SIFI MedTech 社
イタリア

焦点深度拡張型
(EDOF)



海外発注となりますのでレンズが当院に届くまで 2~3 週間はかかります。

屈折矯正手術

角膜を削らない近視・乱視矯正

ICL (眼内コンタクトレンズ)

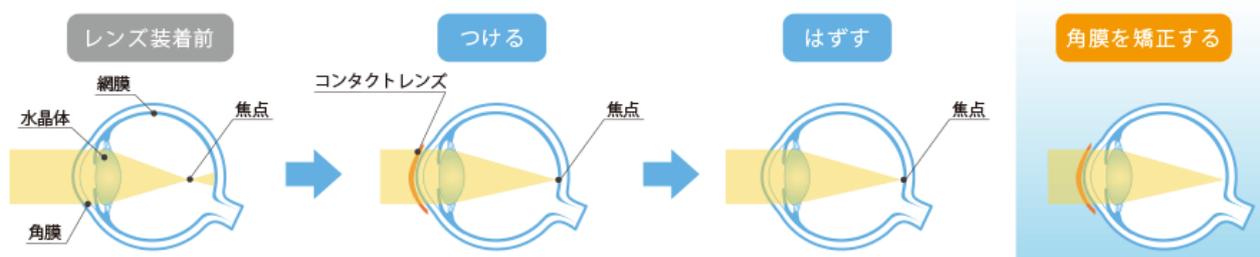
- ✓ 局所麻酔で日帰り手術
- ✓ 除去して元の状態に戻ることができる
- ✓ 当院ではこのレンズを使用し国内でも早期にこの手術を開始しました。



従来の^{レーシック}LASIKは世界的に激減しました。当院ではLASIKにかわり近視矯正手術を**眼内コンタクトレンズ(ICL)**でおこなっています。正常な角膜に操作を加えないというメリット・安全性により希望者も急増しています。

更に睡眠中のコンタクトレンズ装用による**オルソケラトロジー(近視矯正)**も近視進行抑制効果が科学的に証明されてきました。学童期の子供の希望者が増加してきています。

オルソケラトロジー(近視矯正)のしくみ



当院の専門外来

- 老視/屈折矯正外来(多焦点眼内レンズ・眼内コンタクトレンズ(ICL)・オルソケラトロジー)
- 角膜外来(角膜疾患全般・角膜移植(PKP/DSAEK/DALK)・羊膜移植・角膜クロスリンク)
- ドライアイ外来
- ブドウ膜外来
- 涙道外来(チュービング・DCR)
- 網膜硝子体外来(メディカルレチナ・サージカルレチナ)
- 緑内障外来
- セカンドオペニオン外来
- 小児眼科外来
- ロービジョン外来

無料説明会のご案内

- 眼内コンタクトレンズ (ICL) ● オルソケラトロジー ● フェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術(多焦点眼内レンズ) 「無料説明会」開催中。予約不要

ご興味のある方はこの機会に是非ご家族やお友達と一緒にご参加ください。

(毎月・土曜日) 午前 10:00～ (1 時間)

6月6日 ・ 7月4日 ・ 8月1日 ・ 9月5日 ・ 10月3日 ・ 11月7日 ・ 12月4日

基本理念のもと、当院は常日頃からスタッフ全員で症例の共有を行い、患者さんにとっての最適解を選択しております。